

いち早く。より深く。さらに高みへ。

The Only One Value



決済HSMで実現するソリューション概要

～安全なクレジットカードネットワーク実現に向けて～

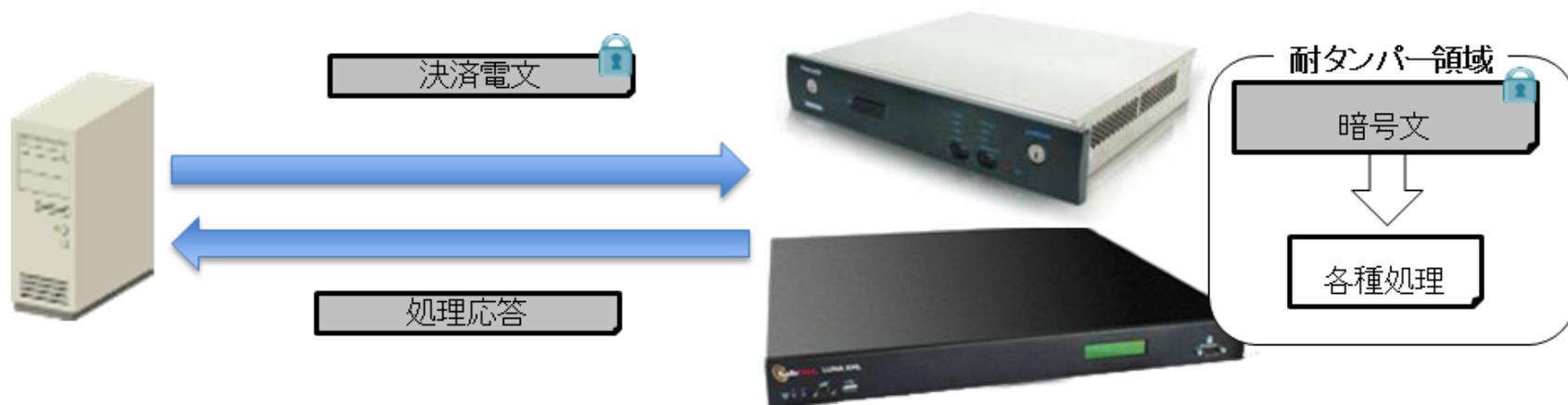
本日の内容

1. 決済HSMで実現するシステム概要
2. 決済HSMで権限を強固に分掌管理し悪用を阻止
3. まとめ

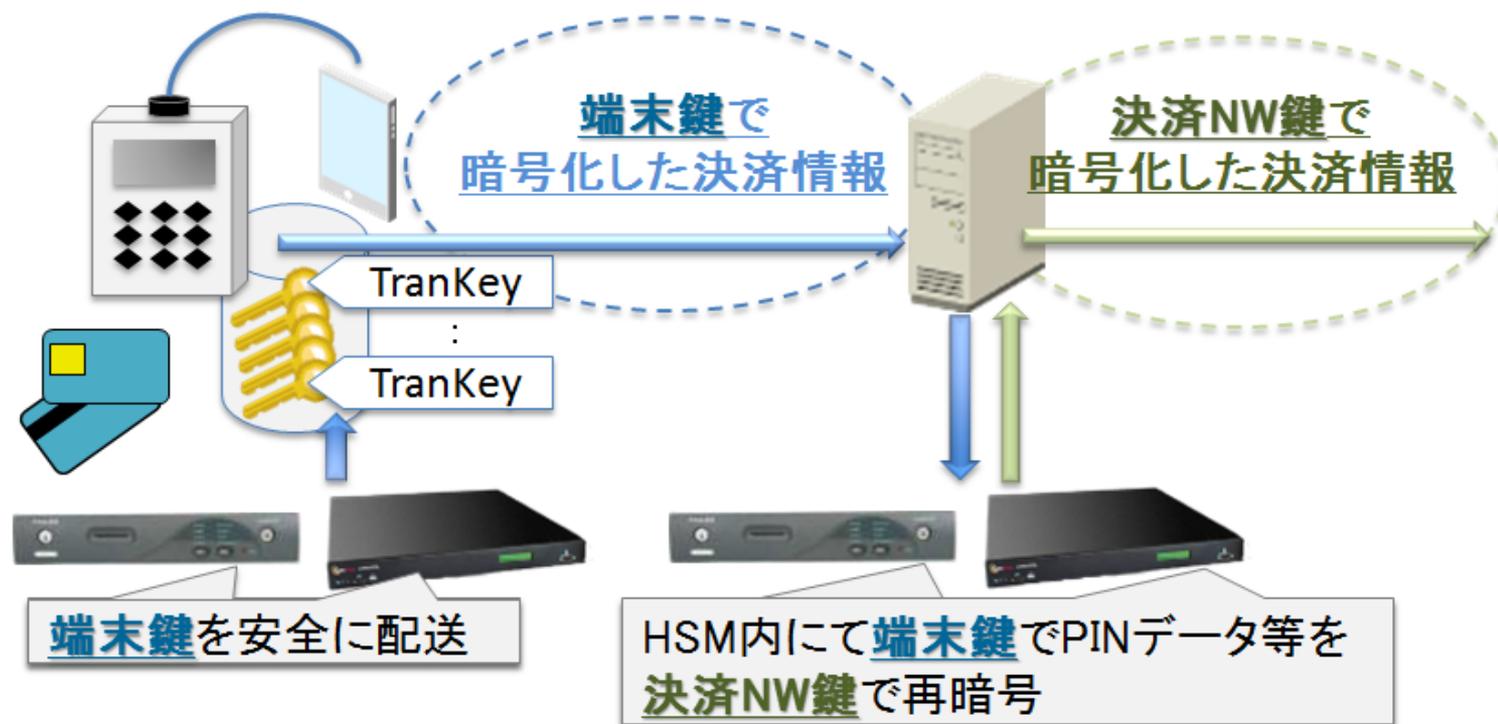
1. 決済HSMで実現するシステム概要

決済HSM概要

- 決済HSM
 - 決済システムの要件(PCIDSS)など、決済ネットワークのセキュリティ要件に追従し、暗号機能を追加
 - アクセスを厳重に管理して、セキュアに運用
- 利用形態
 - 端末鍵の発行
 - 決済ネットワークのスイッチ(暗号鍵の付け替え)
 - 各種クレジットカードブランドに対応した機能を提供



安全な決済の実現(P2PE)



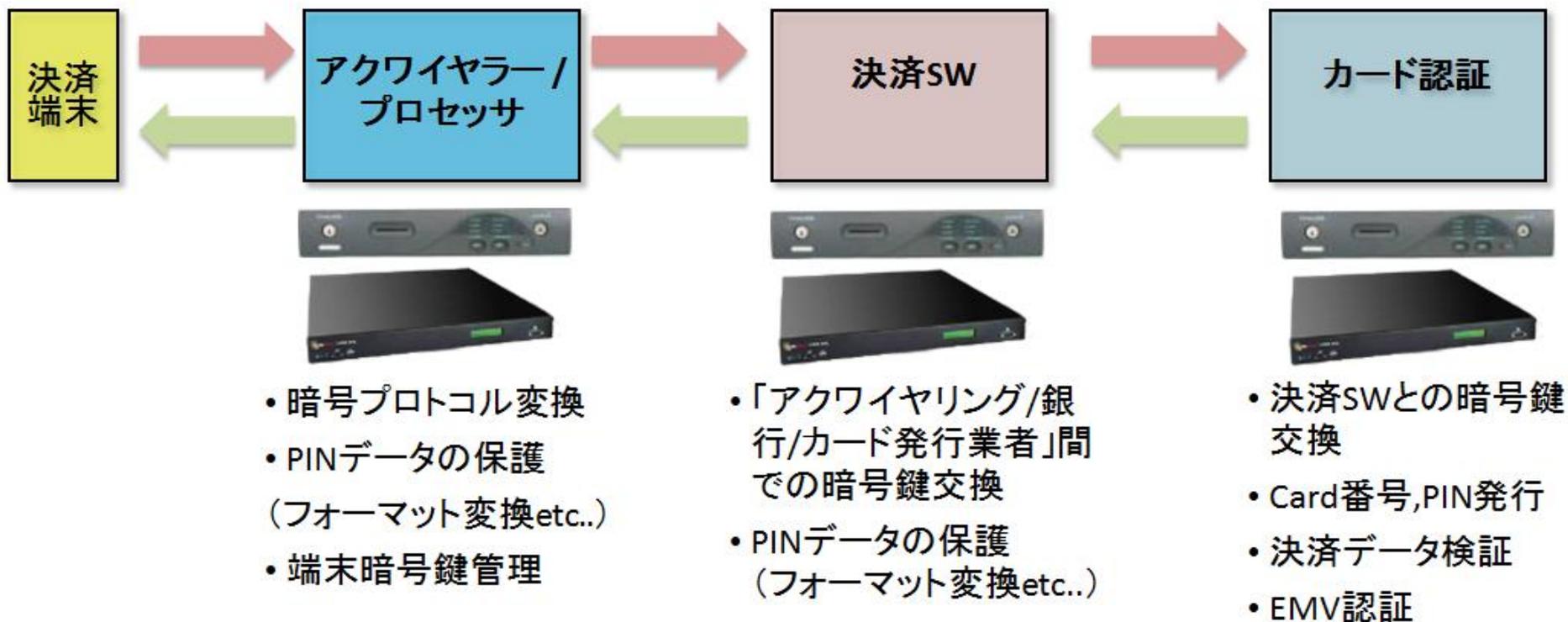
P2PEに対応した鍵管理によって安全に決済を実現

各種国際クレジットブランドをサポート



各種国際クレジットブランドのカードスキームに対応
クレジットカード情報を強固に保護

決済HSMで実現するシステム



2. 決済HSMで権限を強固に分掌管理し悪用を阻止

【payShield9000】権限分掌管理

● 各物理鍵の状態と決済HSMのモード

payShieldのモード	説明
セキュリティ設定モード (Secure mode) 	決済HSMのセキュリティ設定を行うモード。 初期導入時や、セキュリティ設定を変更する 際に本モードにて設定。
隔離モード (Offline mode) 	IPアドレスなどの一部の設定値を変更できるモード。 ログ確認の際に、本モードを推奨。
業務モード (Online mode) 	本モードにて決済処理を行える。 (TCP/IP通信にてコマンド投入可能)

セキュリティ設定の変更を物理鍵で制限

【payShield9000】権限分掌管理

- 2つ以上のスマートカードを使用して、マスターキーを生成
⇒ 権限を分掌して、マスターキーへのアクセス制限を実現



2人の権限者の許可 (スマートカードと暗証番号)
がないとマスターキーの設定変更が不可能

【LunaEFT】USBトークンを用いて各種権限を分掌



各種USBトークン	説明
	移設等、機器設置時に使用許可を確認する際に認証
	EFTの設定変更等の操作権限を確認する際に認証
	暗号鍵バックアップ、リストア等の権限を確認する際に認証
	監査ログにかかわる操作権限を確認する際に認証

USBトークンとパスワード認証で各機能へのアクセスを個別に制限

3. まとめ

クレジットカードネットワーク中の決済HSM

- クレジットカードネットワークの要所にて選ばれている理由
 - 製品が提供する厳格な鍵管理によって悪用を阻止
 - 各種国際クレジットカードブランドをサポート
 - 日々進歩するセキュリティ要件に追従

決済HSMで安全なクレジットカードネットワークを実現！



クレジットカード取引におけるセキュリティ対策 (PCI P2PE ソリューションについて)

2017/6/22

ネットムーブ株式会社

高田 理己

takada@netmove.co.jp



What's provided by NetMove?

セキュリティサービス

決済サービス

<https://www.saat.jp>



Sa^oT Netizen

不正送金やウイルスをブロック

銀行ホームページにアクセスしている間、起動させる事でインターネットを安心してご利用いただくことができる無料サービスです。

詳しくはこちら >



Sa^oT Secure Starter

Powered by safe square

スマートフォンでの banking 利用をさらなる安全・快適に

「SaAT Secure Starter」は、スマートフォンからのサービス利用時に、安全性の確認を受けながらアクセスを可能とするソリューションです。

Android・iOS対応



Sa^oT ポケレジ

スマートフォン、タブレットがクレジットカード決済端末に!

スマートフォンやタブレットにカードリーダーを接続してクレジットカード決済端末としてご利用いただけるアプリです。端末のセキュリティチェック機能を搭載し、かんたん、安心なクレジットカード決済が行えます。

詳しくはこちら >

PCI P2PE 認定取得に向けて監査対応中

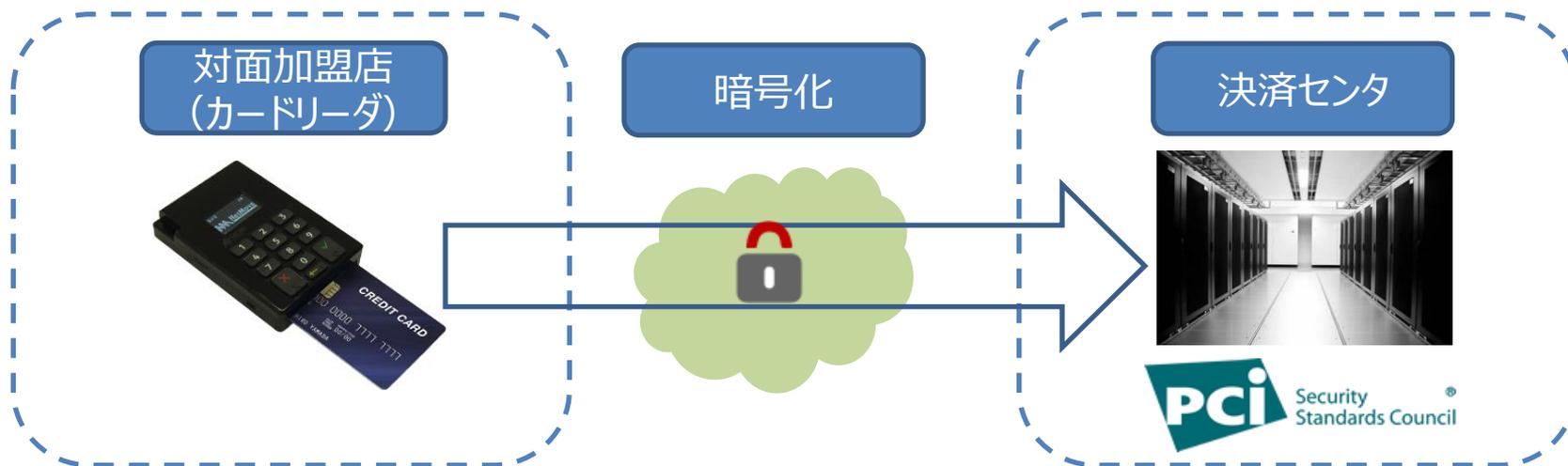
本日のお話し

- ✓ PCI P2PE の概要
- ✓ PCI P2PE コンポーネント
- ✓ HSM を利用した P2PE キーマネジメント

PCI P2PE の概要についてお話しします

PCI P2PE (Point To Point Encryption) とは？

- ✓ 対面加盟店向けソリューション
- ✓ Point To Point でカード情報を暗号化



経産省実行計画2017年版からの引用

クレジットカード取引における セキュリティ対策の強化に向けた実行計画

－ 2 0 1 7 －

(2)対面加盟店におけるカード情報の非保持化についてより抜粋

【公表版】

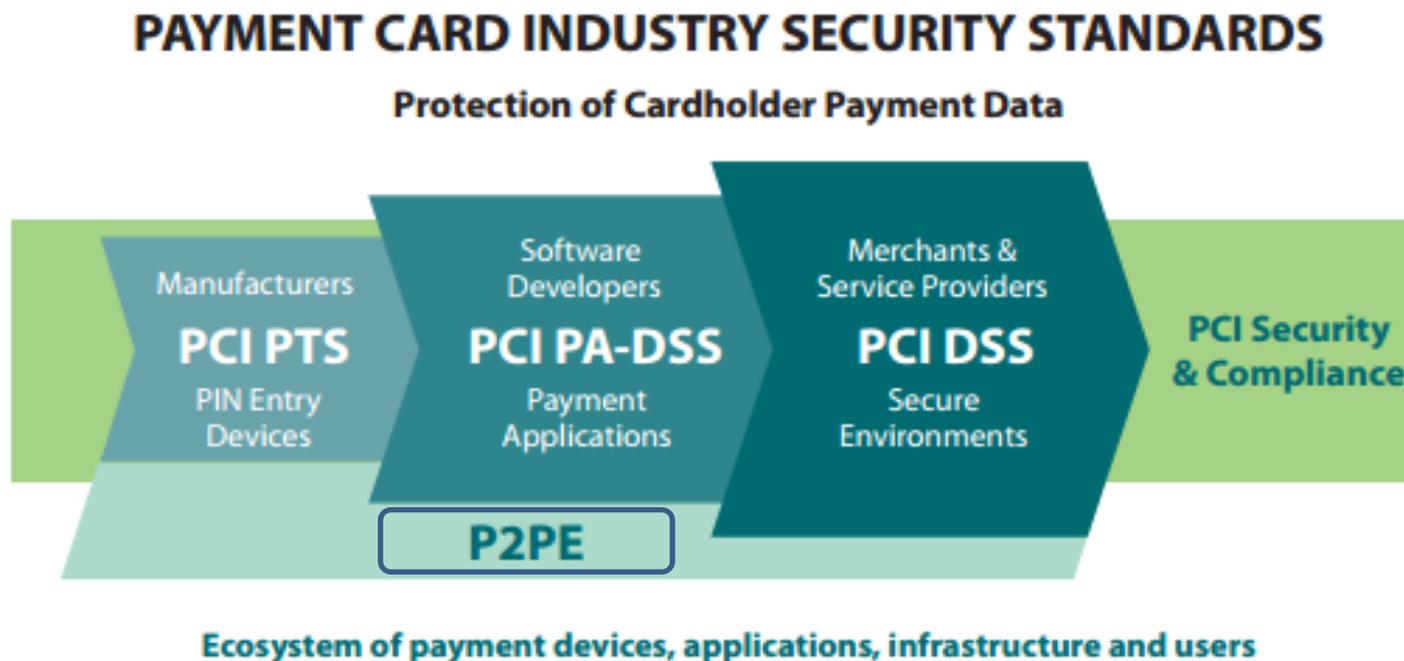
ただし、暗号化等の処理によりカード番号を特定できない状態とし、自社内で復号できない仕組みとすれば、仮に窃取されてもカード情報として不正使用することは極めて困難であり、非保持と同等/相当のセキュリティが確保できるため、本実行計画においては、これを「非保持化」と同等/相当のセキュリティ措置として扱うものとする。こうした措置の一例として、**PCI P2PE⁶** (PCI Point to Point Encryption) がある。「非保持化」と同等/相当のセキュリティ措置については後述(4)を参照

2017年3月8日

クレジット取引セキュリティ対策協議会

PCI P2PE Overview (PCI SSC サイト引用)

- Only Council-listed P2PE solutions are recognized as meeting the requirements necessary for **merchants to reduce the scope of their cardholder data environment** through use of a P2PE solution. (PCI P2PE FAQ)



PCI DSS Quick Reference Guide Understanding PCI DSS v3.0

SAQ Validation Type P2PE

v3.2 SAQ Validation Type	Eligibility Criteria*	ASV Scan Required	Penetration Test Required
A Of Questions:22	Card-not-present merchants: All payment processing functions fully outsourced, no electronic cardholder data storage	No	No
D-MER Of Questions:331	All other SAQ-eligible merchants	Yes	Yes
P2PE Of Questions:33	Hardware payment terminals in a validated PCI P2PE solution only: No e-commerce or electronic cardholder data storage	No	No

PCIP2PE Solution Provider Service
利用時は自己問診33項目で加盟店は
PCIDSS準拠相当とみなされる

Self-Assessment Questionnaire P2PE (参考)



Payment Card Industry (PCI)
Data Security Standard
**Self-Assessment Questionnaire P2PE
and Attestation of Compliance**

**Merchants using Hardware Payment Terminals in
a PCI SSC-Listed P2PE Solution Only – No
Electronic Cardholder Data Storage**

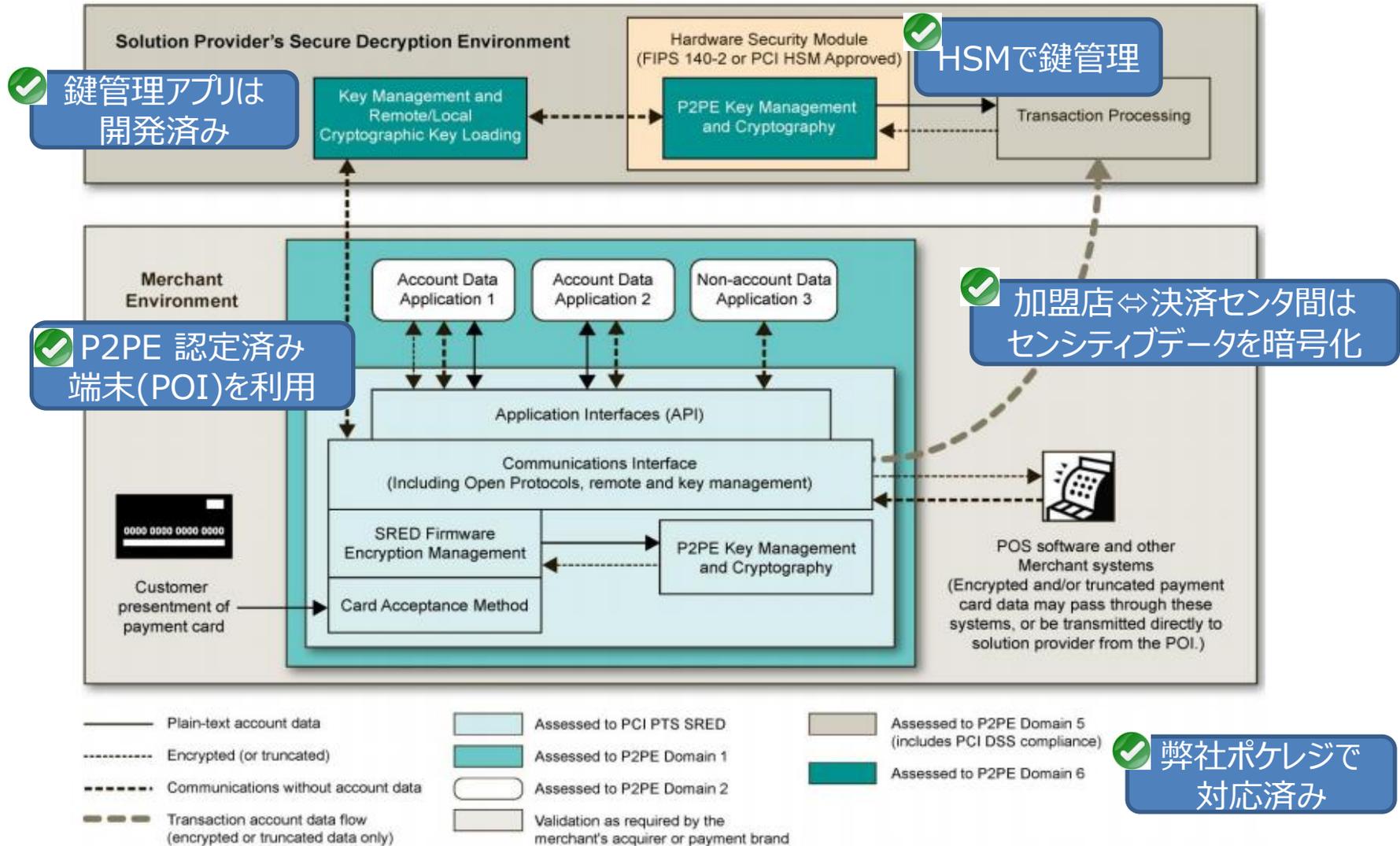
For use with PCI DSS Version 3.2

Revision 1.1

January 2017

続いて、P2PE において構成される コンポーネントとソリューション全体の管理 について

PCI P2PE Components



Example P2PE Implementation at a Glance

PCI P2PE Domains (High Level Summary of Six P2PE Domains)

<p>Domain 1 – Security requirements for the</p> <p>暗号化端末 アプリ管理</p>	  <p>ロジスティクス</p>  
<p>暗号化アプリ セキュリティ</p>	
<p>Domain 3 – For P2PE solution management</p> <p>P2PEソリューション 管理</p>	
<p>加盟店管理 ソリューション</p>	<p>N/A(Not Applicable)</p>
<p>Domain 5 – Security which include:</p> <p>復号化環境</p>	   
<p>Domain 6 – P2PE Key</p> <p>鍵管理 運用全般</p>	    

PCI P2PE Component Provider



MIURA SYSTEMS MAKES IT EASY FOR PAYMENT PARTNERS
WITH P2PE CERTIFICATION

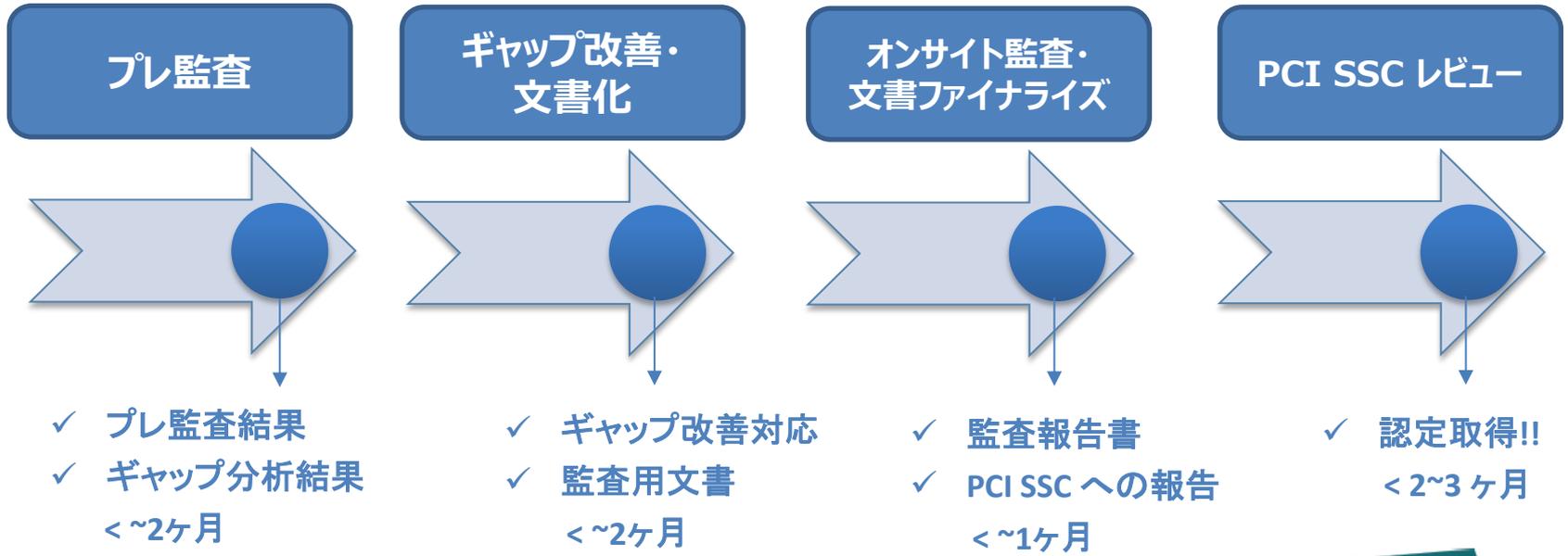
October 19, 2016 by Miura News in mPOS | Payments | Share this on [f](#) [in](#) [t](#) [&](#) [v](#)

Added new diagram to explain relationships between P2PE solution providers, **P2PE component providers**, and other third parties. (Summary of Change P2PE 1.1 to 2.0)

Miura Certified PCI P2PE Component Provider

- PCI P2PE Domain2 (Application Security): 2016/10/10
- PCI P2PE Domain6 (Cryptographic Key Operations and Device Management) – Annex A2: (CA Operations): 2016/9/22

PCI P2PE 認定取得プロセス例

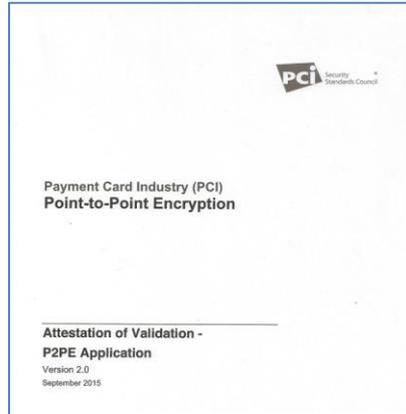


- ✓ P2PE 対応可能なコンポーネントの選定
- ✓ 責任、役割分担を明確に規定
- ✓ 運用体制の確立

PCI P2PE 監査提出証跡例



Approval



3rd Party Agreement



Manual



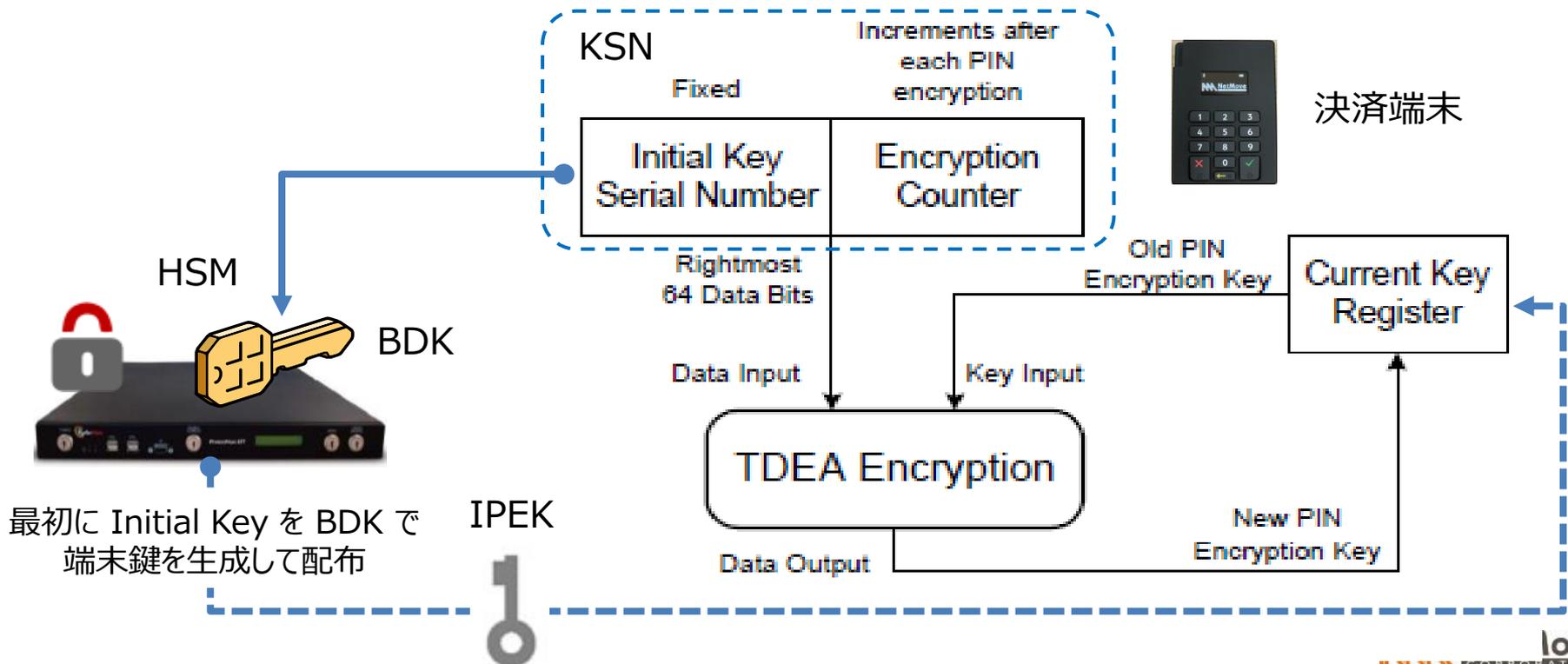
Logs



最後に、PCI-P2PE における
HSM を利用したキーマネジメントについて
お話しします

What's "DUKPT"? (P2PE Core Key Management)

- Derived Unique Key Per Transaction, トランザクション毎に異なるユニークな暗号鍵を使うことで暗号鍵の危殆化を防止する仕組み
- BDK (Base Derivation Key) を用いて端末毎に異なる鍵を生成
 - BDK が危殆化した際には決済システムの鍵が判別できてしまう
 - P2PE では BDK は HSM に格納して厳重に管理することが義務付けられている



Remote Key Injection

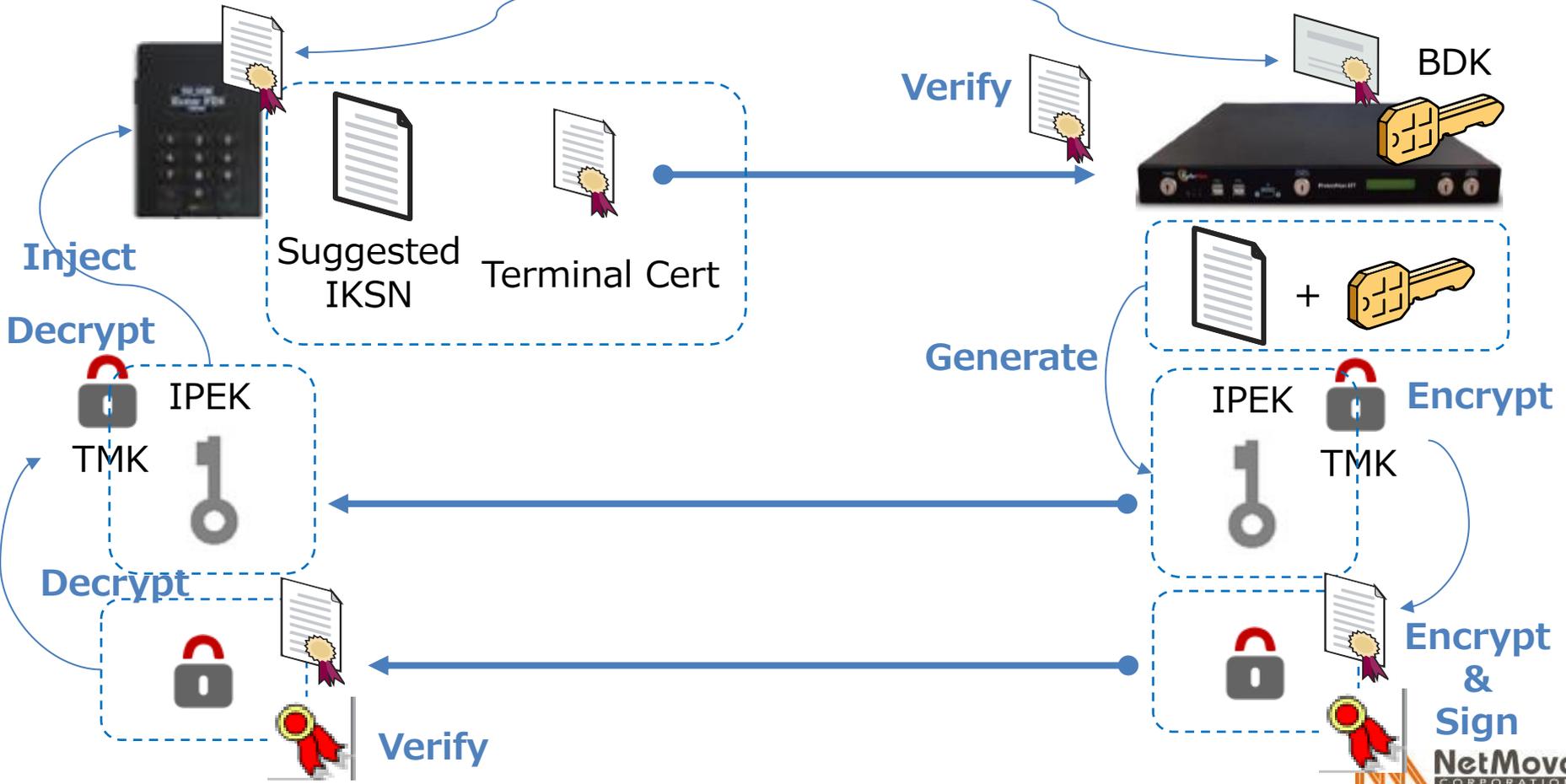
PCI P2PE Domain6 Annex A1
(Remote Key Distribution using Asymmetric Techniques)



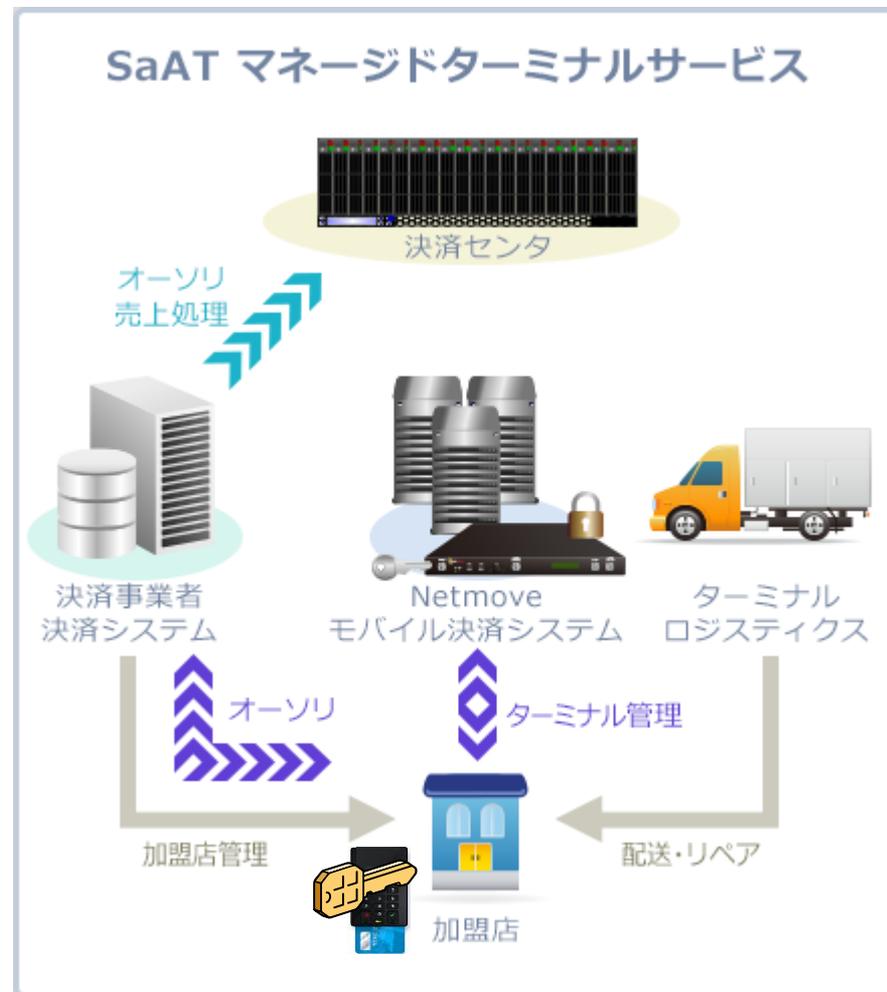
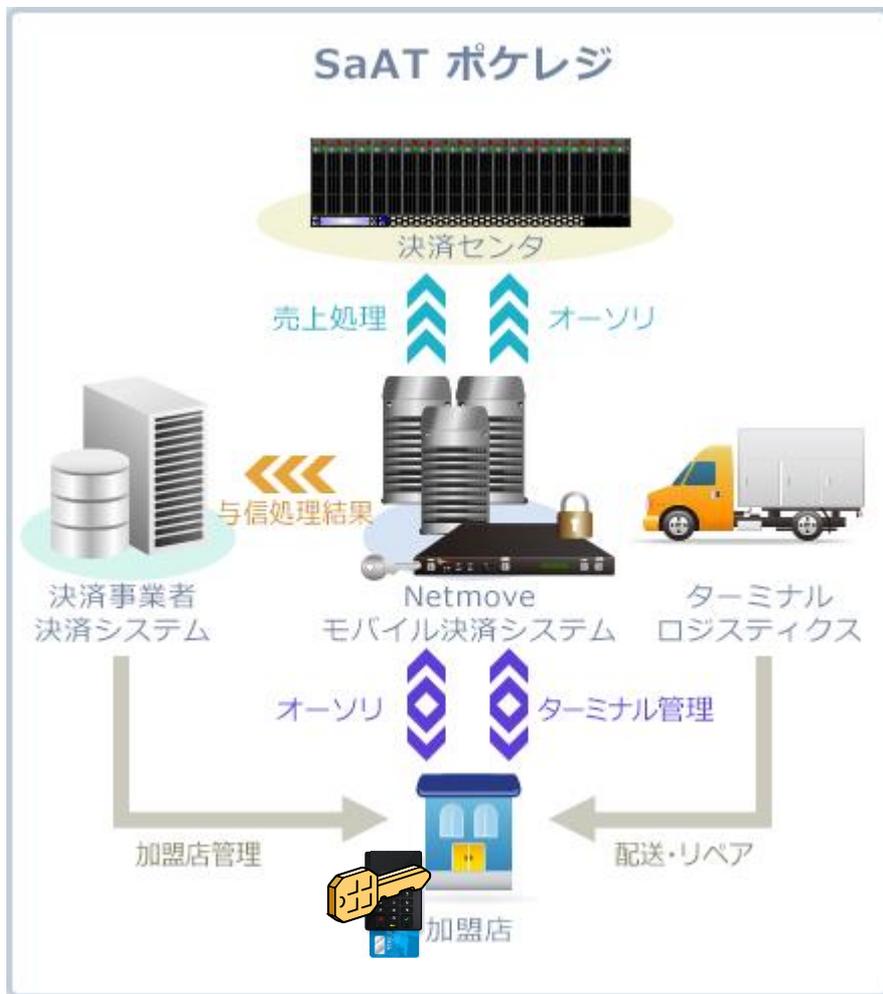
Terminal + CA Cert

CA

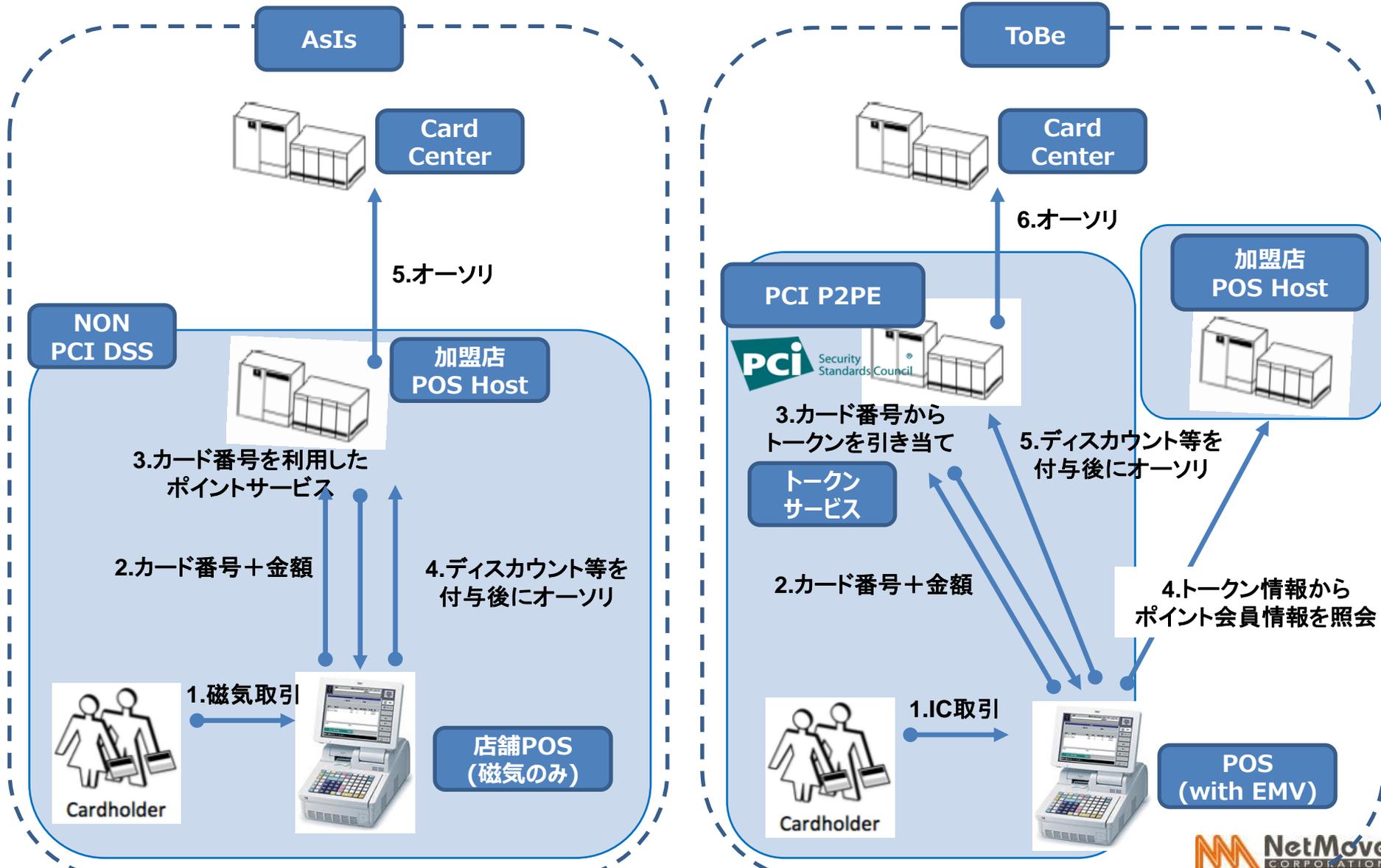
HSM + CA Cert



ご提供サービス形態イメージ(ご参考)

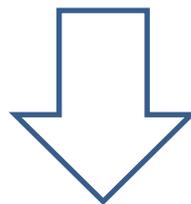


PCI P2PE マイグレーション例 (AsIs - ToBe)



PCI P2PE ソリューションまとめ

- ✓ 対面式決済を Point To Point で暗号化
- ✓ 単に暗号化すれば良いというわけではない
 - 適正な暗号鍵のキーマネジメント
 - ソリューションとしての厳正な管理体制



- ✓ セキュリティを担保しつつ、加盟店の責務・負荷は軽減される